

NEW SOPHIA

ニュー ソフィア



| | |
|--|-----|
| 平成21年度入学式 | 2 |
| 平成21年度新入生研修会 | 3・4 |
| 平成20年度卒業式・表彰者紹介 第102回歯科医師国家試験結果(新卒合格率、私立大学中第1位) | 5 |
| 戦略的大学連携支援事業-SD研修・海外視察報告会 口腔機能向上スキルアップ記念フォーラム | 6 |
| 上海交通大学口腔医学院との乾杯交流／海外研修派遣 | 7 |
| FROM THE ALUMNI ASSOCIATION 同窓会日より | 8 |
| HI FROM CLINICS クリニックからこんにちは | 9 |
| FROM PARENTS 保護者からのメッセージ | 10 |
| 病院長に本川教授／短大学科長の選任／定年退職を迎えて | 11 |
| 平成22年度入試日程／平成21年度オープンキャンパス お口と歯の無料相談を行います | 12 |

福岡歯科学園ホームページも
ご覧ください。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

平成21年度入学式

新しい気持ちでスタート、福岡歯科大学



福岡歯科大学歯学部・大学院の平成21年度入学式は4月3日、来賓ならびに家族の列席のもと福岡歯科大学本館講堂で挙行されました。

緊張の面持ちの94人の歯学部新生に北村憲司学長は、「近年、歯や口腔と全身疾患の関わりが次々と明らかになっており、歯科医師は、歯と口腔という器官を通して人の健康を守る医療人であることが不可欠です。そのためには一般医学の知識、素養が身につける必要があります。そうした観点から本学は『歯科医学から口腔医学へ』と変わることを提案しています。社会を構成する個人が円滑に生活するための身体的、精神的環境を守り、改善する

ことを手伝うことがこれからの歯科医師に求められています。そのような医療活動を行うために必要な知識・技術・態度の一つ一つを今日から毎日の研鑽として積み重ねて、口腔医学を実践できる大きな特長を持った歯科医師となっていきたい。」と期待を述べました。

7人の大学院入学生に対して、「歯科医療が生命科学の一分野として広がっていくためには、科学的思考に基づいた歯科医学、即ち口腔医学としての再編が必要であり、皆さんは口腔医学の担い手として、臨床と研究を結ぶ『洞察力をもった歯科医師』として、大きく成長されることを期待します。」と式辞で述べました。



目標に向かって、福岡医療短大へ



福岡医療短期大学の平成21年度入学式は、キャンパスに桜が咲き誇る4月7日、本館講堂で執り行われました。式辞の中で相豪洋学長は「本学は、キャンパス内にある介護老人保健施設と特別養護老人ホームで歯科衛生学科と保健福祉学科の2学科が協力して口腔介護実習を行うという他大学にはない特色をもっています。皆さんは、知識や技術の習得だけでなく、口腔ケアの必要な患者さんや介護の必要なお年寄りに優しい心で接して支えることができる歯科衛生士や介護福祉士になっていただきたい。また専攻科に入学の皆さんは、口腔保健学を学び、これから更に口腔ケアの高度な知識や技術を身につけて、それを患者さんと後輩と分かち合って向上心と好奇心を持って、日本の歯

科衛生士のレベルを更に引き上げてください。」と述べ、希望に胸をふくらませた106人（歯科衛生学科74人、保健福祉学科16人、専攻科16人）の新生にエールを送りました。



福岡歯科大学新入生 研 修 会

4月10日、11日の2日間、平成21年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で実施され、理事長・学長講話、2つの講義、阿蘇登山や禅寺での講話・座禅などが行われ、新入生や助言教員との親睦を図り、これからの6年間、学業や学生生活を共に過ごす仲間同士の思い出となる研修会でした。



福岡医療短期大学新入生 研 修 会

4月10日、11日の2日間、平成21年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で行われ、歯科衛生学科と保健福祉学科は理事長、学長講話に続き、歯学部部の講義に参加したほか、阿蘇登山や大観峰見学を行い、新入生と上級生、教員との親睦を深めました。

歯科衛生学科



保健福祉学科



第31回福岡歯科大学卒業式・第21回大学院修了式

福岡歯科大学の第31回卒業式並びに第21回大学院修了式が、3月21日午前10時から本館講堂で執り行われ、北村憲司学長より歯学部卒業生81人に卒業証書・学位記が手渡され、大学院修了生2人には歯学博士の学位記が授与されました。

〔表彰〕

学業成績優秀者

川中笑美【理事長賞】

北林克之【学長賞】

村上 弘【学長賞】



校友会功労者

村上 弘【校友会総務委員長】

内田雄啓【校友会体育部会長】

長谷英明【校友会学術文化部会長】

石田佳之【校友会体育祭実行委員長】



謝恩会

【学位論文紹介】

【学位授与日:平成21年3月21日】

◇植木猛士(甲第207号)

Expression of junctional adhesion molecules on the human lymphatic endothelium

(ヒリンパ管内皮細胞における junctional adhesion molecules の発現)

◇吉田智治(甲第208号)

Analysis of masseter muscle oxygenation and mandibular movement during experimental gum chewing with different hardness

(硬さの異なるガム咀嚼における咬筋内酸素動態と顎運動軌跡の解析)



大学院修了生

第11回福岡医療短期大学卒業式・第10回福岡医療短期大学専攻科修了式

福岡医療短期大学の第11回卒業式並びに第10回専攻科修了式が3月11日午前10時から福岡歯科大学本館講堂で執り行われ、歯科衛生学科96人、保健福祉学科24人の卒業生に対し栢豪洋学長より卒業証書が授与され、専攻科歯科衛生学専攻の9人には、修了証書が授与されました。専攻科修了の9人は、独立行政法人大学評価・学位授与機構の定める学修成果・試験の審査に合格し、4年制大学卒と同等の「学士(口腔保健学)」の学位を授与されることとなり、学位記も併せて授与されました。この分野では、短大専攻科として初めての事です。

〔学業成績優秀による表彰者〕

歯科衛生学科

松本亜希子【理事長賞】

力武紗由美【短大学長賞】

前田 豊美【短大学長賞】

保健福祉学科

河野 章人【理事長賞】

雪野 綾子【短大学長賞】

山崎友里恵【短大学長賞】

専攻科学位取得者

石橋由莉 小川 恵 谷口雅美

岩村裕美 駒井里美 永渕友理絵

大神仁美 榮 梨恵 波多江美香



謝恩会

第102回歯科医師国家試験結果

3月27日、厚生労働省から第102回歯科医師国家試験の結果が発表されました。福岡歯科大学からは新卒者81人及び既卒者48人、計129人が受験し、98人が合格しました。合格率は76.0%で、私立大学17校中第5位でした。特に新卒者の合格率は88.9%で、私立大学中第1位となりました。全国の受験者3,531人中、合格者は2,383人(合格率は67.5%)でした。



第18回歯科衛生士試験結果

3月25日、厚生労働省から第18回歯科衛生士試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生ら100人が受験し、97人が合格しました。ちなみに全国の合格率は95.3%でした。

戦略的大学連携支援事業-SD研修

2月19日、20日の2日間、福岡歯科大学においてSD(スタッフ・ディベロップメント)研修が行われ、TV会議システムにより九州歯科大学、北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学、神奈川歯科大学、鶴見大学、福岡大学の連携大学へ講演内容が同時配信されました。これは、文部科学省の戦略的大学連携支援事業に採択された、8大学による『「口腔医学」の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考』の事業の一環として行われたものです。

1日目は、文部科学省高等教育局・村本定則

主任の基調講演「高等教育及び私学の現状と問題点」、2日目は大学改革の中、大学職員としてあるべき姿や、大学職員の能力開発について、広島大学高等教育研究開発センター・山本真一センター長から「大学職員の能力開発—より良い経営と教職協働のために—」と題して講演が行われました。

その後のフリーディスカッションでは、各大学の現状や課題について活発な意見交換が行われ、北海道から九州までの医学・歯学系大学職員が交流する、またとない機会となりました。



戦略的大学連携支援事業-海外視察報告会

各連携大学の口腔医学カリキュラム作成担当者による、海外の大学医学部・歯学部視察が1月から2月にかけて実施されました。

3月23日には、各大学に導入したTV会議システムを利用して海外視察報告会が開催され、視察した大学の医科・歯科教育について報告の後、海外の状況を踏まえた、口腔医学カリキュラム作成についての意見交換を行いました。

視察先:

- ①北米 (Harvard School of Dental Medicine, Tufts University)
- ②ヨーロッパ (University of London, Charles University in Prague, University Louis Pasteur Strasbourg)
- ③アメリカ中西部 (University of Missouri-Kansas City school of Dentistry, University of North Carolina School of Dentistry, University of Kentucky)



FD講演会を開催

3月24日、福岡歯科大学第3会議室において、「我が国の歯科保健医療飛躍の課題」(講師:瀧口徹氏、神奈川歯科大学歯科医療社会学分野・客員教授)と題するFD講演会が開催されました。瀧口氏は、現状の歯科保健医療を事例に基づき報告し、歯科保健医療が高齢化と保健・医療・福祉施策の進展下で飛躍するにはどのような課題があるかについて講演されました。また、この講演会内容は戦略的大学連携支援事業の連携校へTV会議システムにより同時配信されました。



Roessner教授、来学

九州大学で病理特別講演のため福岡市を訪問中のドイツ連邦共和国マゲブルグ大学医学部病理学主任教授、Albert Roessner氏が3月17日、福岡歯科大学を訪問され、田中健蔵理事長、北村憲司学長ならびに本学の教授らと日独の医学・歯学教育について意見交換を行いました。現在、「口腔医学」の確立を推進している本学にとってドイツの教育制度等を知る貴重な機会となりました。



歯科医師臨床研修、開始

4月1日、平成21年度歯科医師臨床研修開始式が602講義室で執り行われ、62人が辞令を受け臨床研修歯科医師として研修を開始しました。研修は、単独型・複合型プログラムとありますが、医科歯科総合病院のみ、あるいは医科歯科総合病院とその他の協力型臨床施設に登録されている歯科医院において来年3月まで行われます。



～福岡医療短期大学～ 口腔機能向上スキルアップ 記念フォーラム

3月15日、短大主催の『口腔機能向上スキルアップフォーラム』が開催されました。このフォーラムは『介護予防新時代における歯科衛生士の口腔機能向上スキルアップ講座』が、文科省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択されたのを記念して開催されたものです。10時30分に開会し、「スキルアップ講座の概要」、「歯科衛生学科の口腔介護教育」、ビーブランド社のランチョン

セミナー「免疫不全患者の口腔ケア」、「口腔機能向上支援の制度」、「口腔機能向上支援の現場報告」の講演に続いて、パネルディスカッションが開かれ、16時30分に閉会しました。参加者は歯科衛生士、歯科医師、介護福祉士など178人が参加し、超高齢社会における口腔機能向上への熱い期待と関心が寄せられました。



パネルディスカッション

上海交通大学口腔医学院との乾杯交流

口腔・顎顔面外科学講座 口腔外科学分野 教授 池邊 哲郎

平成21年3月8日から15日までの8日間、私と柳田講師(成育小児歯科学分野)が本学5年生8人を引率して上海交通大学口腔医学院を研修訪問しました(派遣学生は例年6人でしたが今年度は8人となりました)。来年(平成22年)の上海万博をひかえ、市内のいたるところで工事が進行しているせいか、粉塵が舞い上がり太陽が灰色に霞んだような具合でした。口腔医学院の附属病院である第9人民病院は万博会場に近いためなおさらだったかもしれません。

上海交通大学医学部の附属病院は第10人民病院までであるとのことですが、この第9人民病院は口腔医学院と形成外科(中国では整形外科と書かれます)が中心の病院です。特に口腔顔面外科は有名で中国全土から患者が集まり、その症例数や手術数には圧倒されます。病院自体は20階をこえるビルで各フロアに各診療科があり、1日の外来患者3500人を、ユニット数220台、病床180床、教授31名、副教授57名、講師25名、助教19名で対応し、その景観は日

本でイメージする歯学部附属病院ではなく「総合病院」という趣きでした。2日目から学生2人ずつ4グループに分かれ、各グループに上海の5年生が付き添って各診療科を研修しました。実際に中国人患者のスクーリングを行った学生もいたようです。夜は市内のレストランで日中の学生同士で会食をしましたが、中華料理はどれも美味しいものでした。特に我が大和撫子の乾杯交流は特筆に値しました。

学生同士が本当に親密に交流してくれたと思います。コミュニケーションは英語が主体で全員が語学力の欠如を痛感していたようでしたが、語学はカタコトでも上海の学生達から伝わってくる強い専門意識が本学の学生には大

きな刺激になってくれたと思います(私個人の感想では日中友好の鍵は「漢字」と「論語」ではないかと思うのですが)。その成果は離別の際に両学生ともに涙したことでわかるかと思っています。中国のグローバル化のせいかもしれませんが、中国人と日本人の意識の違いは私よりも若い世代でずっと少なくなっているように感じました。

最後に上海交通大学口腔医学院の方々には大変お世話になりました。特に張建中教授のお心遣いには本当に感謝する次第です。謝謝。



口腔医学院長を訪問



上海の学生と一緒にセミナーを受講

海外研修派遣

【福岡歯科大学】平成20年度

| 所属分野 | 職名 | 氏名 | 用務 | 派遣先 | 派遣期間 |
|--|-----------------------------|---|---|--|----------------------------|
| 口腔顔面美容医療センター | 助教 | 片山知子 | クインテッセン60周年記念学術大会への参加(審美歯科治療の情報収集) | ベルリン(ドイツ) | 自:H.21.1.20 至:H.21.1.27 |
| 外科学 | 教授 | 鴻江俊治 | 戦略連携支援事業海外視察のため | ロンドン(イギリス) プラハ(チェコ) ストラスブル(フランス) | 自:H.21.2.1 至:H.21.2.8 |
| 心療内科学 | 教授 | 稲光哲明 | 戦略連携支援事業海外視察のため | カンザスシティ チャペルヒル レキシントン(アメリカ) | 自:H.21.2.8 至:H.21.2.14 |
| 口腔インプラント学 冠橋義歯学 口腔顔面美容医療センター 有床義歯学 冠橋義歯学 | 准教授 教授 講師 助教 助医 | 城戸寛史 松浦尚興 松永昌隆 徳富健太郎 片岡三綱 服部寛子 | Academy of Osseointegration Annual Meetingにて発表のため | ロサンゼルス サンディエゴ(アメリカ) | 自:H.21.2.25 至:H.21.3.3 |
| 口腔外科学 成育小児歯科学 | 教授 講師 | 池邊哲郎 柳田憲一 | 上海交通大学への派遣学生(8人)の引率及び今後の両校の学術交流の協議等のため | 上海(中国) | 自:H.21.3.8 至:H.21.3.13 |
| 有床義歯学 | 助教 | 森津宣昭 江文文武 | 1.上海交通大学口腔医学院歯科補綴学講座、張富強教授ならびに孫健准教授と顎補綴治療に関する臨床研修について打ち合わせのため 2.上海交通大学にて「FRCの義歯への応用」について研究発表のため 3.上海交通大学における顎顔面補綴治療の見学のため | 上海(中国) | 自:H.21.3.15 至:H.21.3.19 |

【福岡歯科大学】平成21年度

| 所属分野 | 職名 | 氏名 | 用務 | 派遣先 | 派遣期間 |
|--------------------------------|------------------|----------------------|--|-------------|----------------------------|
| 口腔健康科学 | 講師 | 晴佐久悟 | 87th General Session of the IADRIにて発表のため | マイアミ(アメリカ) | 自:H.21.4.1 至:H.21.4.6 |
| 細胞生理学 歯科保存学 口腔顔面美容医療センター | 講師 助教 助教 | 鍛冶屋浩 福島晶絵 片山知子 | 第87回国際歯科研究学会にて発表のため | マイアミ(アメリカ) | 自:H.21.4.1 至:H.21.4.6 |
| 歯科保存学 | 助教 | 茂山千英子 | International Association for Dental Researchにて発表のため | マイアミ(アメリカ) | 自:H.21.4.1 至:H.21.4.6 |
| 口腔インプラント学 | 教授 | 松浦正朗 | 第50回大韓口腔顎顔面外科学会への参加と招待講演のため | ソウル(韓国) | 自:H.21.4.9 至:H.21.4.12 |
| 冠橋義歯学 口腔顔面美容医療センター 有床義歯学 | 教授 講師 大学院生 | 佐藤博信 松永昌隆 吉田兼義 | KAP International Prosthodontic Congress in Conjunction with The 6th Meeting of the Asian Academy of Prosthodontics (AAP)にて発表のため | ソウル(韓国) | 自:H.21.4.24 至:H.21.4.26 |
| 総合歯科学 | 助教 | 谷口奈央 | 国際口臭学会、国際呼吸学会合同会議にて発表のため | ドルトムント(ドイツ) | 自:H.21.4.25 至:H.21.5.2 |
| 総合歯科学 | 大学院生 | 梶尾陽介 | 国際口臭学会、国際呼吸学会合同会議にて発表のため | ドルトムント(ドイツ) | 自:H.21.4.25 至:H.21.5.2 |
| 総合歯科学 | 大学院生 | 岩元知之 | 国際口臭学会、国際呼吸学会合同会議にて発表のため | ドルトムント(ドイツ) | 自:H.21.4.25 至:H.21.5.2 |
| 総合歯科学 | 准教授 | 米田雅裕 | 国際口臭学会、国際呼吸学会合同会議にて発表のため | ドルトムント(ドイツ) | 自:H.21.4.25 至:H.21.5.2 |
| 冠橋義歯学 有床義歯学 | 教授 助教 | 佐藤博信 徳富健太郎 | 26th Store Kro Club Conferenceにて発表のため | ドレスデン(ドイツ) | 自:H.21.5.6 至:H.21.5.11 |

【福岡医療短期大学】平成21年度

| 所属 | 職名 | 氏名 | 用務 | 派遣先 | 派遣期間 |
|--------|----|------|---|---------|----------------------------|
| 保健福祉学科 | 教授 | 高瀬文広 | 第13回映像英語教育学会(STEM)にて基調講演及びSTEMのアドバイザーエディターとして参加(招聘) | ソウル(韓国) | 自:H.21.4.17 至:H.21.4.19 |

From The Alumni Association

同窓会だより

福岡歯科大学同窓会主催／学術講演会を開催



講演者(左から松永氏、城戸氏、坂上氏)

お招きして行いました。開会は、宮口同窓会会長のご挨拶より始まり、城戸寛史准教授が「インプラント治療に必要な基礎知識とGuided Surgeryの薦め」をテーマに、一般臨床に広く行われているインプラント治療において必要な基本的な知識やインプラント埋入時に生じる合併症などの症例を解剖学的観点より解り易く解説していただきました。松永興昌講師には、「審美修復における酸化ジルコニアを用いた臨床と問題点」というテーマで、現在最も注目されている酸化ジルコニアを用いた修復の効果と臨床的問題点を臨床データと技工データを基にご講演していただきました。坂上竜資教授には、「歯周組織再生における咬合性外傷のコントロールの重要性」というテーマで、基礎的研究を中心としたデータを臨床と関連付けて解説していただきました。最後に3人の先生方に登壇して頂き質疑応答において活発な意見交換が行われ、大変有意義な講演会となりました。

今回の講演会は、これまでの講演会とは趣向を変え、外部からの講演者ではなく、福歯大現職の先生方をお願いしました。これにより福歯大の先生方を広く一般に知っていただくとともに、同窓会会員にも通常聞きにくいような質問が気軽にできるようなアットホームな雰囲気での講演会となりました。

学術理事 鬼塚 得也(14期)

去る2月8日 福岡歯科大学同窓会主催第22回学術講演会が福岡県歯科医師会館において開催されました。

本講演会は、「エビデンスに基づいたこれからの歯科治療」をメインテーマに福岡歯科大学口腔インプラント学分野・城戸寛史准教授、口腔顔面美容医療センター・松永興昌講師、歯周病学分野・坂上竜資教授の3人の先生方



質疑応答

同窓会通信 「会員を結ぶ絆とは？」

同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

現在私たち同窓会役員一同は、来る7月25日(土)に行われる「福岡歯科大学同窓会30周年記念行事」に向けて鋭意準備を行っているところです。当日は、皆様にお会いできることを楽しみにお待ちしております。

さて先般私は、宮口会長、勝俣副会長、武井専務理事、疋田常務理事とともに、九州大学歯学部、九州歯科大学、長崎大学歯学部および福岡歯科大学の同窓会が集まって行われる「九州4大学連絡協議会」に出席させていただく機会を与えていただきました。

協議会は、「同窓会のあり方、将来展望」をテーマとして行われました。当日出席されたいずれの大学の役員お一人お一人が、形は異なるものの、いかに皆様へ還元できるような活動を行っていくのかを真摯に考えてい

らっしゃいました。

その中の1つに、「会員を結ぶ絆とは？」という質議題がありました。皆様は、このことについてどのようにお考えをお持ちですか?きっと、百人百様のお答えが返ってくると思います。

今回の会議では、「卒業生としてのプライド」、「先輩後輩意識」、「運命共同体」、「母校愛」、「帰属意識」、「同窓意識」などのキーワードが挙げられておりました。これらの言葉は、表現は異なるものの、根底に流れるものは1つのような気がします。

私たちの同窓会も、この「絆」を大事に出来る会でありたいと心より思っております。

広報、企画・情報常務理事 小柳 進祐(12期)

卒業生トーク 「10年目の節目」 長島 義之(21期)



今年21期生の卒後10周年の同窓会を開催することになりました。21期生の皆さんは心づもりをお願い致します。

皆さんは10年後の自分を想像して夢に向かっていますか?

私は卒業時に10年後はどこで何をやっているのだろうとおぼろげな想像しかできませんでした。

父には実家に帰ってくるのは10年先くらいかなと冗談半分で言っていたのですが、期せずしてちょうど節目の10年後に実家に引き上げることになりました。しかしその内容は想像とはかなりかけ離れた10年間でした…。

卒業時口腔インプラント科が開設され、卒後研修医から携われたことは自分の歯科医師としての大きな財産となりました。特に大学院時代に必死で文献をあさり実験を重ねたこと、数回の学会を開催し運営を行ったこと、ここ数年アメリカインプラント学会で学会発表ができたことなど、大学にしなければできない体験でした。しかし一番貴重なものは患者

さん一人一人でした。何も出来ない自分に最も多くのことを教えて下さいました。先日初めてインプラントを埋入した患者さんにお別れのご挨拶ができ、これでやっと卒業だと感慨深い気持ちになりました。

これからの10年間は、歯科医院経営やスタッフ教育など全く異なった問題で苦勞することでしょうが、10年後に後悔のないものにしたいと思います。

最後になりましたが、自分の家族以上に多くの時間をともに過ごし、多くの思い出を残してくれた口腔インプラント科の皆さん、本当にありがとうございました。

また本稿をお借りしてお世話になりました福岡歯科大学関係各位の皆様方に感謝申し上げます。



口腔インプラント科の皆さん

バイクで気分転換



鳥取で開業して8年目に入りました。早いものです。開業当初から週の半分は往診をしています。思い返せば、卒業したての何もできない私に熱心に指導していただいた口腔外科第一講座の先生方、勤務先の先生方にはとても感謝しております。おかげさまで何とかここまでやってこれました。本当にありがとうございます。

仕事もなんとか軌道に乗り、とうとう昨年、昔から憧れていたバイクの免許を取りました。しかも大型二輪です。高校生の頃から乗りたかったのですが、母の「あなたはバイク乗ったら死ぬで」の言葉に納得し、諦めていました。過去に原付で3回コケてますし。何でその年になってバイクなの？ってよく聞かれます。人生の振り返りも過ぎ、年をとり、体力も衰えていく自らの情けない姿に何か抗わないといけないという衝動だと自分では分析してます。まあ昔から無茶しいな性格ですので、免許取得の2ヵ月後に転倒して鎖骨を骨折し、生まれてはじめて全身麻酔をかけられました。プレート固定すると、とても楽になり1ヵ月後にはもうバイクに乗れました…(笑)。ええバカですとも!

バイクで走っていると気持ちいいですよ。先日Yahooニュースでも大脳の活性化とストレス解消にとってもいいとありました。みなさんにも是非お勧めです。連休があれば、四国や広島などツーリングに出かけようと友人と話しています。

最近バイク漬けですが、あと25年くらいは仕事していく予定ですので、まだまだ勉強もしなくてははいけません。どこかの講習会でお会いしたら是非声をかけてください。

晴れてたらバイクで大阪の講習会など行く予定です。ははっ、懲りません。

いなぎ歯科医院(鳥取県鳥取市)
伊奈垣 学(19期) =文

写真上=診療室
 写真下=筆者



患者の心にタッチ!!



「福岡歯科大学大好き」東村です。先日も呼ばれてないのに、バドミントン部の追い出しコンパに参加してきました。しかも10歳も下の後輩に酔って説教してしまいました。(笑)

さて、私が山口県宇部市に開業して4年になります。病院のモットーは「患者さんを元気にして帰す」。私もスタッフも笑顔と思いやりを忘れないよう気をつけています。

病院には、毎日個性的な患者さんがやってきます。先日も馴染みのおばあちゃんが治療にやってきました。文句を言うのが趣味のような患者さんです。久しぶりの来院で、「今日は何を言われるのかな」と覚悟を決め、「おばあちゃん、元気やった?」と声をかけました。すると突然泣き出しました。「会いたかった〜。先生に治療してもらいたかった〜。」おばあちゃんは事故で入院治療に来られなかったとのこと。いじわるばあちゃんの目に涙。私の胸にも熱いものがこみあげてきました。

在学中、ある先生に「歯だけを治すのではなく、患者さんの心に触れられる医者になりましょう」と言われたことがあります。未だ道半ばですが、今回のことでそれが少し実践できているのかなと嬉しく思いました。

大学での6年間は、あっという間でした。でも、その時学んだ事や経験が、今の全てに生きています。大変な仕事ですが、歯医者になって良かったと思います。

これからも“患者さんの心にタッチ”できる歯医者を目指して精進してまいります。福岡歯科大学の皆様へ感謝しつつ、これからもどうぞよろしくお願ひ致します!!

黒石デンタルクリニック(山口県宇部市)
東村 石万(21期) =文

写真上=明るく落ち着いた感じが心がけました。(待合室)
 写真下=元気の素!スタッフと私



保護者からのメッセージ FROM PARENTS



逸見 精児 = 文

後悔しないため日々の努力を

大学を卒業して社会人一年生となったのが、昭和54年4月でした。本当に、文字どおり、右も左もわからない、何もできない人間に、よくも給料なるものを支払ってもらったものです。感謝感謝です。医員という身分でしたが、それがいかなるものかわかるはずはありません。日雇いみたいなものであるという説明を受けたような気がしますし、なにか記憶の方もいま一つ定かではありません。「やる気のある者を求む」という言葉にコロッとだまされたのか、ひっかかったのか。「給料決して高くはないが」というところに、なにげなくひかれたというか。いまだにこういう天邪鬼なところが少なからず残っているようです。少しでも早く使い物になるようにならなければと毎日必死だったような、そこまで深く考えても

いなかったのか?25歳だったということは、丁度30年前だということになります。自分の子供があと1年もすれば、ほぼ同じようなスタートラインに立とうとしているなんて。感慨深いものがあります。今現在の自分はどうかということを第三者的に見てみた場合、さて、特にこれといって他人に誇れる「わざ、テクニック」があるわけではなく、ただただ一つ一つ、「いい加減」ではなく、「よい加減」を目指して、自分のできる精一杯、喜んでもらえる歯科治療を目指して、日々努力しているところです。そのためにも、体調、心の調子が良い状態であるように、唯一の趣味ともいえるソフトバレーボール、ママさんバレーボールを毎週、雨の日も、風の日も、雪の降る日も、台風の日も、さぼることなく、しっかり楽しんでます。



藤田 展大 = 文

「五十路の一考」

3歳の頃から診ている女の子(現在5歳)が、8歳の兄と一緒に定期的に通院しています。よくしゃべり、よく笑う可愛らしい子供ですが、残念なことに健康な歯は数える程で、殆どが虫歯の状態です。麻酔が必要な治療が多く、目に涙を溜めて我慢強くじっと口をあけている協力的な患者さんです。先日その子が先に治療を終え、兄の治療を傍で見ていたのですが、ふと私に「わたし、大きくなったら歯医者さんになるの。」と話しかけてきました。横にいた母親が嬉しそうに「○○ちゃん、歯医者さんになりたいのよね。」と相槌を打ちました。私は嬉しくなり、「○○ちゃん、頑張って歯医者さんになってね。そう言ってくると、先生嬉しいよ。」と返しました。午後の出来事でしたが、午前中に相性の悪い患者さんを相手にして少々塞ぎ気味の私は、一転して気分は上昇し、ほんのりと暖かい空気の中で兄の診療を終えました。

痛を患ってあと数ヶ月と宣告された老人や、白血病の娘に先立たれて悲しんでいる初老の母親が、今年に入って立て続けに来院しました。一緒に目頭が熱くなるのを覚えました。時には相性の悪い患者さんと喧嘩腰になることもあります。そこには、いくつになっても達観できぬ自分がいます。これは、平凡な開業医としての私の日々です。

私が一期生として福岡歯科大学を卒業して丁度30年になります。その間世の中は大きく変貌し、歯科医師を取り巻く環境も大変厳しいものとなりました。まさに今日の歯科大生諸君には多難な状況と言えるでしょう。しかしながら、こういう時代なればこそ、どうか皆さんにはそれぞれが抱いた志を大切に、「良医」を目指して頂きたいと思えます。

私も「医の原点とは?」と己に問うことを厭わずに歩んで行きたいものと考えています。

福岡歯科大学 新入生へのクラブ紹介

4月3日の入学式後、新入生対象の学友会クラブ紹介が体育館でありました。毎年、新入生へ大学にどういったクラブがあり、その活動状況など発表しています。これは各クラブ員がそれぞれに工夫を凝らし、新入生へアピールし部員の勧誘をするために行われています。新入生たちは、先輩クラブ員の熱心でユーモアあるクラブ勧誘に心動かされていました。今年も、多くの新入生がクラブに加入し活動していくことを願います。



クラブ活動の利点をアピール(バスケットボール部)

短大歯科衛生学科、登院式

福岡医療短期大学歯科衛生学科の平成21年度登院式が、4月9日、福岡歯科大学講堂で、来賓、法人役員、教職員、父兄らが参列し執り行われました。同学科第3学年79人は一人ひとり壇上に上がり、緊張した面持ちで榎学長から戴帽を受けました。いよいよ医科歯科総合病院での臨床実習が開始され、実践的な実習によって歯科衛生士としての自覚と責任がより培われることになるでしょう。



短大父兄後援会会長改選

歯科衛生学科
石橋 正邦保健福祉学科
藤本 智恵美

4月7日、福岡医療短期大学の入学式に引き続いて開催された歯科衛生学科父兄後援会総会において石橋正邦氏が、父兄後援会長に選任されました。また同日開催された保健福祉学科父兄後援会総会において、藤本智恵美氏が父兄後援会長に選任されました。

病院長に本川教授、新役職教員決まる

2月17日に開催された第412回理事会において、大学運営の中核を担う医科歯科総合病院長ならびに学生部長、各部門長が次のとおり決定しました。任期は、平成21年4月1日から2年間です。本川病院長は学園理事・評議員にも就任されました。

| | |
|-------------|--------------------|
| 病院長 | 本川 渉(成育小児歯科学分野・教授) |
| 学生部長 | 岡部幸司(細胞生理学分野・教授) |
| 口腔・歯学部門長 | 小島 寛(障害者歯科学分野・教授) |
| 全身管理・医歯学部門長 | 湯浅賢治(画像診断学分野・教授) |
| 社会医歯学部門長 | 埴岡 隆(口腔健康科学分野・教授) |
| 基礎医歯学部門長 | 谷口邦久(病態構造学分野・教授) |



前列左から谷口、本川、岡部教授、後列左から埴岡、湯浅、小島教授

新教授紹介

おおぼし ひろあき

大星 博明 教授

内科学分野

略歴

九州大学医学部卒。米国アイオワ大学内科博士研究員、九州大学医学部助手、講師を経て、平成21年4月1日福岡歯科大学教授に就任。博士(医学)。大分県出身。

抱負

国民病である脳卒中を中心とした動脈硬化性疾患とその危険因子である生活習慣病を診療・研究する脳血管内科を専門としています。本学が目指している口腔医学確立の上でも基本となる内科学教育の充実に努めて参ります。



かねさき のぶお

金崎 信夫 教授

医療統計学分野

略歴

九州大学理学部物理学科卒。同大学大学院理学研究科博士課程修了。福岡歯科大学助手、講師、助教授、准教授を経て、平成21年4月1日同大学教授に就任。博士(理学)。福岡県出身。

抱負

きめ細かな教育を通して学生に医歯学分野における統計学の重要性の理解と応用力を身に付けさせたい。また、大学院生や医員の先生方により一層的確な助言ができるよう研鑽に努めたい。



ひだか ますみ

日高 真純 教授

分子機能制御学分野

略歴

九州大学理学部卒。同大学理学研究科修士課程、同大学院医学系研究科博士課程を修了。基礎生物学研究所助手、その間、米国コールドスプリングハーバー研究所博士研究員。その後、生物分子工学研究所主任研究員、九州大学大学院医学研究院学術研究員、福岡歯科大学准教授を経て、平成21年4月1日同大学教授に就任。博士(理学)。鹿児島県出身。

抱負

生物学はおもしろい。生物がもつ柔軟、かつ精巧なしくみには驚かされてばかりです。現在研究している細胞死のしくみもそのひとつ。生命科学教育と基礎医学研究の両面で貢献できるよう努力します。



本田常務理事に名誉教授の称号

本田武司常務理事にこのほど福岡歯科大学名誉教授の称号が授与されました。

本田常務理事は、昭和50年4月から福岡歯科大学講師、昭和56年4月から助教授、平成6年4月から教授として口腔外科学を担当し、この間、教育・研究・診療に大いに力を尽くされました。さらに情報図書館長、臨床教科主事、附属病院長として、また、平成15年2月からは2期6年に亘って大学長として教育改革や病院改革に手腕を発揮され、また関係学会へも貢献されました。

短大学科長の選任

福岡医療短期大学は任期満了に伴い、歯科衛生学科学科長に緒方稔泰教授を選任、保健福祉学科学科長に大倉義文教授を再任しました。



緒方学科長



大倉学科長

緒方学科長の任期:

平成21年4月1日～平成24年3月31日まで

大倉学科長の任期:

平成20年12月1日～平成23年11月30日まで

●●● 定年退職を迎えて ●●●

平成21年3月、定年退職されたお二人からのメッセージです。



機能構造学分野 講師 中村 隆之

【在職期間:昭和51年10月1日～平成21年3月31日】

昭和51年10月、本学に赴任以来、組織学や解剖学の講義、実習に携わることが出来ました。約33年間お世話になりました。本当にありがとうございました。これからはやりたい事をしながら有意義に過ごしたいと思います。



機能構造学分野 講師 杉本 幸隆

【在職期間:昭和58年7月1日～平成21年3月31日】

昭和58年7月1日。山は青く早良平野に広がる緑の田園。8階の窓から初めて眺めた山野を昨日のように覚えています。歯科教育に関われたことに感謝しつつ思い出をかみしめています。お世話になりました。

平成22年度入学試験日程

| 福岡歯科大学 | | | | 福岡歯科大学大学院 歯学研究所 | | |
|--------|--|--------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 区分 | 推薦入試日程 | 一般入試A日程 | センター試験利用入試 | 一般入試B日程 | 一次募集 | 二次募集 |
| 募集人員 | 約20名 | 約40名 | 約6名 | 約5名 | 18名 | |
| 出願受付期間 | H21.10.26(月)～11.6(金) | H22.1.4(月)～1.28(木) | H22.1.18(月)～2.12(金) | H22.2.8(月)～3.11(木) | H21.7.27(月)～8.14(金) | H22.1.25(月)～2.12(金) |
| 試験日 | 11月8日(日) | 2月2日(火) | 2月14日(日) | 3月13日(土) | 8月20日(木) | 2月18日(木) |
| 合格発表日 | 11月12日(木) | 2月4日(木) | 2月17日(水) | 3月15日(月) | 9月4日(金) | 3月4日(木) |
| 問合せ先 | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp | | | | | |

【福岡歯科大学AO (Admissions Office方式) 入学試験】

本学のAO入学試験制度は、歯科医学を学び、歯科医師を目指す意志が明確で、次世代の歯科医学をリードできる、若く、有能な人材を広く全国から募集する制度です。また、AO入学試験合格者のうち、入学試験成績上位3名の者に対して、入学初年度から卒業までの6年間学術奨励金を支給します。(但し、2年次以降は継続条件有)

| 募集人員 | 出願受付期間 | 試験日 | 合格発表日 |
|------|------------------------------|---------------|---------------|
| 約25名 | H21年9月15日(火) H21年10月8日(木) | H21年10月10日(土) | H21年10月13日(火) |

※詳細は福岡歯科大学学務課入試係(TEL.092-801-1885)までお問合せください。

| 福岡医療短期大学・歯科衛生学科 | | | | | | |
|-----------------|---|----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| 区分 | 推薦入試(指定校) | 推薦入試(公募) | 一般入試A日程 | 一般入試B日程 | 一般入試C日程 | AO入試 |
| 募集人員 | 約10名 | 約10名 | 約15名 | 約5名 | 若干名 | 約40名 |
| 出願受付期間 | H21.11.2(月)～11.12(木) | H21.11.2(月)～11.12(木) | H22.1.5(火)～1.28(木) | H22.2.2(火)～2.17(水) | H22.3.1(月)～3.10(水) | 詳細は入試係までお問い合わせください。 |
| 試験日 | 11月14日(土) | 11月14日(土) | 2月1日(月) | 2月19日(金) | 3月12日(金) | |
| 合格発表日 | 11月20日(金) | 11月20日(金) | 2月5日(金) | 2月26日(金) | 3月16日(火) | |
| 問合せ先 | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Hyg ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp | | | | | |

| 福岡医療短期大学・保健福祉学科 | | | | | | | | |
|-----------------|---|----------------------|----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 区分 | 推薦入試(指定校) | 推薦入試(I)(公募・社会人) | 推薦入試(II)(公募・社会人) | 一般入試A日程 | 一般入試B日程 | 一般入試C日程 | 一般入試D日程 | AO入試 |
| 募集人員 | 約10名 | 約5名 | 約5名 | 約5名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 約15名 |
| 出願受付期間 | H21.11.2(月)～11.12(木) | H21.11.2(月)～11.12(木) | H21.12.1(火)～12.10(木) | H22.1.5(火)～1.28(木) | H22.2.2(火)～2.17(水) | H22.3.1(月)～3.10(水) | H22.3.16(火)～3.23(火) | 詳細は入試係までお問い合わせください。 |
| 試験日 | 11月14日(土) | 11月14日(土) | 12月12日(土) | 2月1日(月) | 2月19日(金) | 3月12日(金) | 3月24日(水) | |
| 合格発表日 | 11月20日(金) | 11月20日(金) | 12月17日(木) | 2月5日(金) | 2月26日(金) | 3月16日(火) | 3月26日(金) | |
| 問合せ先 | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Wel ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp | | | | | | | |



※保健福祉学科は、平成21年度入試から入学定員(募集人員)を変更しました。

オープンキャンパス

| 開催校 | 実施日 |
|----------|---------------------|
| 福岡歯科大学 | 7月25日(土)・8月29日(土) |
| 福岡医療短期大学 | 5月期 5月17日(日)・23日(土) |
| | 6月期 6月14日(日)・20日(土) |
| | 7月期 7月11日(土)・26日(日) |
| | 8月期 8月7日(金)・22日(土) |
| | 9月期 9月13日(日)・19日(土) |

※福岡医療短期大学のオープンキャンパスでは、AO入試のエントリーカードを配布します。

入学希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に福岡歯科大学、福岡医療短期大学において「オープンキャンパス」が下記の日程で行われます。お問い合わせの上、お気軽にご参加下さい。(問い合わせは各入試係まで)

福岡歯科大学:模擬実習「指の模型を作ろう」 短大保健福祉学科:学園内の介護老人保健施設を見学

お口と歯の無料相談を行います


「歯の衛生週間」にちなみ、「お口と歯の無料相談」が、福岡歯科大学主催で下記のとおり開催されます。多くの方のご来場をお待ちしています。

記

日時:平成21年6月7日(日)10時～17時

会場:西新エルモールプラリバ(福岡市早良区西新)
福岡市営地下鉄空港線「西新」駅下車すぐ

※ 歯や口の中のケア、噛み合わせに関する何でも相談。
日頃気になる口臭のこと、磨き残しがない上手な歯磨き方法、義歯の手入れなどなど、気軽に聞いてみよう!



昨年度